



Content Secure イメージとファイルの準備

- 導入環境に最適なサイズの仮想アプライアンスイメージの決定 (1 ページ)
- Cisco コンテンツ セキュリティ仮想アプライアンスのイメージのダウンロード (2 ページ)
- 起動時にロードするライセンスおよびコンフィギュレーションファイルの準備 (KVM の導入) (2 ページ)

導入環境に最適なサイズの仮想アプライアンスイメージの決定

ニーズを満たす最適なサイズの仮想アプライアンスイメージを決定します。次の場所から入手できる製品のデータシートを参照してください。

アプライアンス	データシートへのリンク
Cisco Secure Email ゲートウェイ	次のページで、「Cisco Secure Email Gateway Appliance データシート」へのリンクを探します： https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/security/cloud-email-security/datasheet-c78-742868.html 。 データシートで「Cisco Secure Email Virtual Gateway Specifications」という名前の表を検索します。
Cisco Secure Web Appliance	次のページで、「Cisco Secure Web Appliance データシート」へのリンクを探します： https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/web-security-appliance/datasheet-listing.html 。 データシートで、「Cisco WSAV」という名前の表を検索します。
Cisco Secure Email and Web Manager	次のページで、「Cisco Secure Email and Web Manager Appliance データシート」へのリンクを探します： https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/se/2019/4/Collateral/security-management-app-ds.pdf データシートで「Cisco Secure Email and Web Manager Virtual」という名前の表を検索します。

Cisco コンテンツ セキュリティ仮想アプライアンスのイメージのダウンロード

始める前に

- シスコからご使用の仮想アプライアンスのライセンスを取得します。
- 「[導入環境に最適なサイズの仮想アプライアンスイメージの決定](#)」を参照してください。

ステップ 1 ご使用の仮想アプライアンスの [シスコダウンロードソフトウェア (Cisco Download Software)] ページに移動します。

- [Cisco Secure Email ゲートウェイ](#)
- [Cisco Secure Web Appliance](#)
- [Cisco Secure Email and Web Manager](#)

ステップ 2 左側のナビゲーションウィンドウで、AsyncOS のバージョンを選択します。

ステップ 3 ダウンロードする仮想アプライアンスモデルイメージの [ダウンロード (Download)] をクリックします。

ステップ 4 ローカルマシンにイメージを保存します。

関連トピック :

- [Microsoft Hyper-V への導入](#)
- [KVM での導入](#)
- [VMWare ESXi での導入](#)

起動時にロードするライセンスおよびコンフィギュレーションファイルの準備 (KVM の導入)

この機能は、Cisco Secure Web Appliance の AsyncOS 8.6 で導入されました。その他のコンテンツ セキュリティ アプライアンスやその他の AsyncOS リリースでは使用できません。

Cisco コンテンツ セキュリティ仮想アプライアンスのライセンスおよびコンフィギュレーションファイルは、Cisco アプライアンスの最初の起動時に自動的にロードできません (初回起動後はロードされません)。

ステップ 1 次のライセンスおよびコンフィギュレーションファイルを取得し、名前を付けます。

- コンフィギュレーション ファイル : **config.xml**
- ライセンス ファイル : **license.xml**

ステップ 2 これらのファイルのいずれか、または両方が含まれる ISO イメージを作成します。

次のタスク

AsyncOS.QCOW イメージを導入する場合は、ISO を仮想 CD-ROM ドライブとして仮想マシンインスタンスに接続します。

起動後は、お使いのシスコ仮想アプライアンスでステータスログを確認できます。この機能に関連するエラーメッセージには「0」というキーワードが含まれています。アプライアンスにログインし、CLI から **tail** コマンドを実行する必要があります。詳細についてはユーザーガイドの「コマンドラインインターフェイス」の章で「Cisco Secure Web Appliance CLI Commands」を参照してください。

関連トピック :

- [KVM での導入](#)

■ 起動時にロードするライセンスおよびコンフィギュレーション ファイルの準備 (KVM の導入)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。